

(2) 東北



東北地域では、景気は持ち直しの動きとなっているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さがみられる。

- ・ 鉱工業生産は緩やかに持ち直している。
- ・ 個人消費はこのところ持ち直しに足踏みがみられる。
- ・ 雇用情勢は感染症の影響が残る中で、引き続き弱い動きとなっているものの、求人等は緩やかに持ち直している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す (は上方に変更、 は下方に変更)。

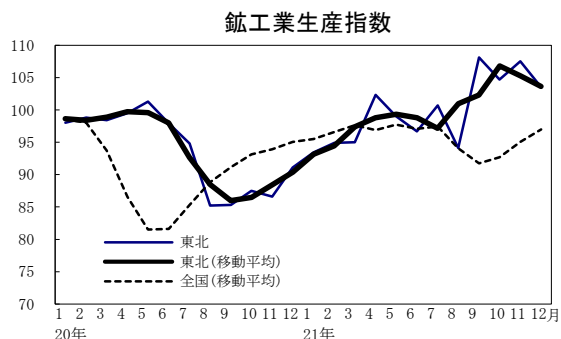
前回からの主要変更点

	前回 (令和3年12月)	今回 (令和4年3月)	
景況判断	新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和されつつある中、持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きとなっているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さがみられる	↓
鉱工業生産	持ち直している	緩やかに持ち直している	↓
個人消費	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	このところ持ち直しに足踏みがみられる	↓
雇用情勢	感染症の影響が残る中で、弱い動きとなっているものの、求人等の動きに底堅さが増している	感染症の影響が残る中で、引き続き弱い動きとなっているものの、求人等は緩やかに持ち直している	↑

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は緩やかに持ち直している。

10-12月期の鉱工業生産は、電子部品・デバイスがコネクタ等が減少したこと等により、前期比2.2%減となった。



(備考) 1. 2015年=100、季節調整値。東北の最新月は速報値。
2. 全国及び東北の太線は中心3か月移動平均、直近月は2か月平均。

域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		7-9 月期	10-12 月期	10月	11月	12月
電子部品・デバイス	15.3	15.6	▲8.4	▲9.2	▲1.0	▲1.2
食料品	11.0	▲1.4	▲1.1	1.2	0.4	▲4.2
化学・石油製品	9.1	22.0	0.8	6.6	▲1.1	▲5.9
輸送機械	7.9	▲1.8	0.9	10.3	18.1	29.9
生産用機械	6.7	17.4	11.2	▲0.4	11.5	▲1.4
鉱工業	100.0	4.2	▲2.2	▲3.5	4.0	1.0

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
2. 10-12月期、12月は速報値。

2. 個人消費の動向

個人消費はこのところ持ち直しに足踏みがみられる。

(1) 地域別消費総合指数（RDEI（消費））

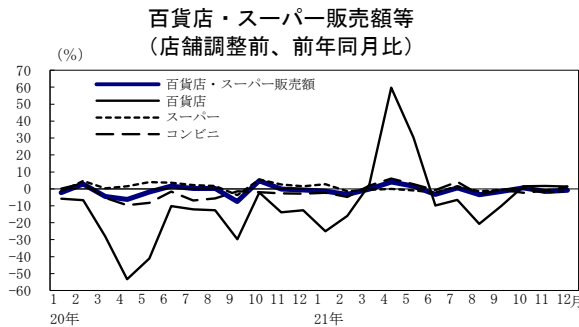
10-12月期は前期比2.2%増となった。月別にみると、10月は前月比3.3%増、11月は同0.1%減、12月は同0.4%増となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店・スーパーは、10-12月期は前年同期比0.7%減となった。月別にみると、10月は前年同月比0.5%増、11月は同1.6%減、12月は同0.9%減となった。

百貨店は、10-12月期は前年同期比1.6%増となった。

スーパーは、10-12月期は同1.0%減となった。

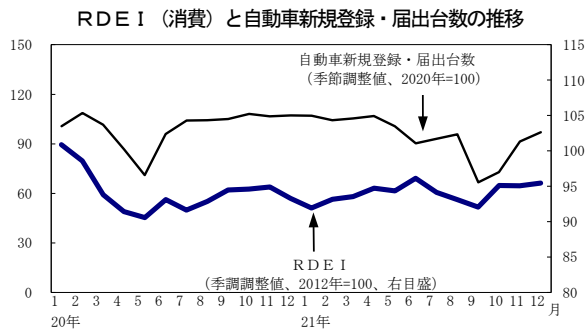


	2021年10-12月	2021年10月	11月	12月
RDEI（消費*1）	2.2	3.3	▲0.1	0.4
百貨店・スーパー*2	▲0.7	0.5	▲1.6	▲0.9
百貨店*2	1.6	1.6	1.7	1.4
スーパー*2	▲1.0	0.4	▲2.1	▲1.2
コンビニ*2	▲0.7	▲2.4	▲1.1	1.4
乗用車*3	▲19.1	▲32.9	▲13.1	▲9.6
(季節調整値)*3	2.3	9.0	25.7	6.2

(備考) 1. 季節調整前(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

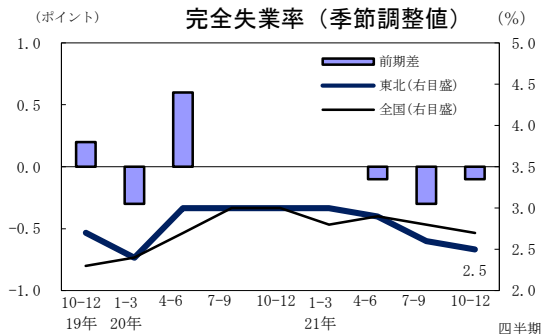
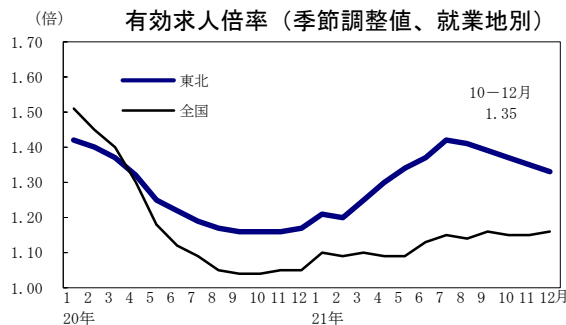
3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))



3. 雇用情勢

雇用情勢は感染症の影響が残る中で、引き続き弱い動きとなっているものの、求人等は緩やかに持ち直している。

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前期を下回っている。



(13) 景気ウォッチャー調査（令和4年1月調査）景気判断理由の概要

2. 東北

(◎良、○やや良、□不変、▲やや悪、×悪)

	分野	判断	判断の理由
現状	家計動向関連	▲	・収束感もあった新型コロナウイルス感染症だが、年明けの新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、週を追うごとに来客数が減少し、売上に影響している（衣料品専門店）。
		□	・来客数が少なくなっているが、その分客単価が上がっており、売上は横ばいとなっている（一般小売店 [医薬品]）。
		×	・月初めは予約が好調で良くなるかと思っただが、第6波の影響かキャンセルが相次ぎ、1月だけで70～80名分のキャンセルが出ている。客が全く来なくなっており、開店休業が続いている（一般レストラン）。
	企業動向関連	□	・販売量が前年比90～95%の状態が続いており、3か月前と比べて悪い状況に変化はない（食料品製造業）。
		▲	・新型コロナウイルスオミクロン株感染拡大の影響で、イベントなどの業務の中止が増加している（広告代理店）。
		×	・半導体不足による生産台数減産の影響で、生産工場の稼働停止や生産設備停止があり、注文数が減少している（輸送用機械器具製造業）。
	雇用関連	○	・求職者数は減少傾向にあるが就職件数は落ち込んでいない。新規求人数は増加傾向が続いている（職業安定所）。
		□	・3か月前と比べ、人材関連の企業、靴や医薬品の専門商社で求人活動を開始する企業が増えている。また、一時と比べると小売でも採用に踏み切るケースが増えている。ただ、飲食業はなかなか浮上のきっかけがつかめていないようで、3か月前と比べても、積極的に採用するという状況には至っていない（人材派遣会社）。
		▲	・落ち着いたと思った新型コロナウイルスの新規感染者数がまた増えており、会議がキャンセルになっているため、仕事が減っている（アウトソーシング企業）。
		その他の特徴コメント	▲：販売価格の異常なまでの高騰により節約志向が強くなっている上に、新型コロナウイルスの感染拡大で外出が減っていることから、販売量が減っている（その他専門店 [ガソリンスタンド]）。 ×：新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大に比例して、予約済みの個人旅行・団体旅行等のキャンセルが、直近のものから3か月以上先のものまで日増しに増えている状況である（旅行代理店）。
先行き	家計動向関連	□	・新型コロナウイルス新規感染者数の急増で内食需要が高まるとみているが、商品の相次ぐ値上げで客に節約の傾向も現れている。この状況は続くとみている（スーパー）。
		▲	・給湯器の納品遅れは長引くことが予想され、予約注文となっている。給湯器以外にも納品遅れが出てくるとみている（その他住宅 [リフォーム]）。
	企業動向関連	○	・年度末の仕事が入ってくることで、新型コロナウイルスオミクロン株が収束することを期待している（出版・印刷・同関連産業）。
		□	・前年の果物の販売単価は、一般的に例年よりも1～2割高かった。一方で、農機具等の整備点検を業者に見積もってもらったところ、今年は1～2割程度値上がりしている（農林水産業）。
		▲	・東北地方も今後、まん延防止等重点措置が適用される地域が増え、ますます景気の低迷が進むと予測している（経営コンサルタント）。
	雇用関連	□	・新型コロナウイルスの影響も薄く、当面人手不足の状況は続くとみている（職業安定所）。
	その他の特徴コメント	○：3回目のワクチン接種や経口薬などにより、新規感染者数は新年度までには落ち着き、春物消費の最盛期には活発に動くを期待している（百貨店）。 ×：新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況次第であるが、ガソリン価格やその他の物価上昇も影響しそうで、厳しい見通しである（遊園地）。	

(D I) 現状・先行き判断D I（東北）の推移（季節調整値）

